

入学者の選抜に関すること

試験問題に関する情報

- 1)看護学科 (1)試験問題、解答例は、小論文・数学・英語についてホームページに掲載している。
(2)出題意図は学生募集要項に選抜種別・選抜科目等とアドミッション・ポリシー、学力の三要素との関連として掲載している。

①小論文：アドミッション・ポリシーに示している基礎学力、主に「読む・書く」能力および「論理的思考」能力を評価し、学力の三要素との関連では、小論文を通して、知識・技能、思考力・判断力を評価するために出題している。論文の重要な部分を読み取り、簡潔にまとめて書けること、論文に対して、自分の知識を活かして筋道を立てて考え、意見を述べられることを意図としている。

②英 語：アドミッション・ポリシーに示している基礎学力、主に「読む・書く」能力を評価し、学力の三要素との関連では、知識・技能、思考力・判断力を評価するために出題している。長文の読解力が身につけているかを評価できる内容にしている。

③数 学：アドミッション・ポリシーに示している基礎学力、主に科学的判断・問題解決能力を評価するために出題している。

- 2)専攻科 (1)試験問題、解答例、出題意図は、小論文、専門基礎分野・専門分野についてホームページに掲載している。

合否判定の方法及び基準

- 1)看護学科 (1)合否判定に用いる要素は、学生募集要項に示した選抜科目等と資格・検定試験所持者の加点により総合的選抜を行う。アドミッションポリシーに基づき、多面的・総合的に判定し合格者を決定している。なお、面接の評価が著しく低い場合は、小論文・学力試験の総合点にかかわらず不合格とすることがある。

- 2)専攻科 (1)合否判定に用いる要素は、学生募集要項に示した選抜科目と調査書により総合的選抜を行う。アドミッションポリシーに基づき、多面的・総合的に判定し合格者を決定している。なお、面接の評価が著しく低い場合は、小論文・学力試験の総合点にかかわらず不合格とすることがある。

合理的配慮の提供に関する対応方法

1)看護学科 (1)相談窓口・事前相談や配慮の申請の方法及び受験上の配慮の一般的な例等については、ホームページ「情報公開」のその他の情報「修学上の特別な配慮を要する学生の受け入れと支援に関する申し合わせ」に、下記のように示している。

①配慮を要する学生に対する入学における受け入れについては入試部長が個々の案件ごとに衆議に基づいて総合的な判断を行い、教授会における承認を得て学長が決定する。

②入学者選抜においては、合理的な配慮をもとに、また対応可能な範囲内で受験機会を支援する方向で準備する。

③学生募集要項の選抜枠ごとに「疾病・負傷や障害等のために、受験場特別な配慮を希望する方は、出願前に本学入試係へ申し出てください」と記載している。ホームページにも掲載する。

2)専攻科 (1)看護学科と同様。